

地域の実態・学校の概況

1. 地域の実態

本校は、白川小学校、片島小学校、与原小学校、南原小学校の4小学校区からなり、田園地区と新興住宅地区の複合型地域である。近年は臨海部への工場進出がめざましく、従事する保護者も数多くいる。

地域の教育に対する期待は大きく、町行政も学校環境の整備に尽力している。子ども会・青少年育成会の活動も盛んで、非行問題等に対する校区内PTA組織の連携による取組も進んできた。

個々の保護者の教育熱は高く教育活動に対しての関心もあるが、近年は、学校への依頼心が強まる傾向にある。そこで、学校開放、PTA活動の活性化、地域行事への積極的参加等を図り、学校・家庭・地域の連携を深めることで、学校教育目標の実現を図っている。

2. 学校の概況

昭和31年4月に開校し、平成18年に50周年記念行事を行った比較的传统の新しい学校である。

昭和58年2月に木造校舎から現在地の鉄筋校舎に新築移転するとともに、同年4月に学校組合立を廃止し、白川小学校区の生徒を受け入れ現在に至っている。

校舎は、周防灘を一望する見晴らしのよい高台にあり、隣に西日本工業大学、大熊公園、周囲を新興住宅地が取り巻く恵まれた学校環境にある。また、校区の一部は、カルスト台地の平尾台の裾野まで面している。